

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年 1月 10日

事業所名： 多機能型事業所 ぴあ・いろはプラス

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	9			個別にスペースが使えるように準備・調整している。	12	3		6	中に入れないので、どんな配置になっているのか、よくわからない	活動の様子を写真や動画に撮り、適宜お見せするようにする。
	2 職員の適切な配置	5	3	1	個別の支援をしているため、手厚い職員の配置が必要。	17			4		より個別支援が充実できるよう職員研修を進める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	8	1			18			3		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	9			机や椅子などはその都度消毒したり、ジグやドアノブ他よく触る所は毎日消毒している。	15	1		5		コロナ対策を含め、今後も継続していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	9									
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	9									
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	7	2								
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8	1			21					
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8	1			20	1				

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	9								
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	9				20	1			
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	8	1							
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7	2		課題や日々の活動の見直しや新しい活動を取り入れる工夫が必要と感じる。	19	2			新しい課題の作成、季節感を感じられる個別の活動を検討し実施する。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	6	3							
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	8	1							
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	5	3	1	送迎支援でその場にはいない職員には後日、報連相をしている。					伝達ボードや回覧なども利用し、情報共有に努める。ケース会の頻度を増やす。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	9								
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	7	2							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	9									
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	4	3								
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	4	3								
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	7	2		支援学校への送迎の折に、先生方から今日の様子や行事、出来事などを聞き、連絡帳に記入して、保護者に伝えている。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	8	1								
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	7	2								
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	5	4		事業所としての活動では交流する機会はない。	7	1	2	11		個別に必要性を検討する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	3	2	4	事業主催の行事をしていない。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	8	1			20	1				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	8	1			21					
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	4	4			15	1	1	4	個別療育なので、ほめ方など学ぶ機会がないように思う。	支援方法について保護者にわかりやすく学んでもらえるよう、個別に対応する。
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	8	1		後で振り返れるように、ファイルに赤で状況を記入している。	20	1				
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7	2		特性の理解を深めるべき。	17	1	2		モニタリングの時に、じっくり話すことが出来ているが、モニタリング以外では様子が分かりづらい時がある。（モニタリング時に見せてもらえる動画では活動の様子がよくわかります）	支援の様子のスナップをお渡ししたり、送迎時に積極的に保護者とやり取りするよう努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	6	3		月一回の保護者学習会（Study倶楽部）を行っている。	14	2	1	4		たくさんの方に参加していただくために、内容や広報の仕方を検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7	2			16			5		
8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	9				20	1					

